

わらわ

「和」の心を楽しむ

九月号

市川海老蔵の  
人・芸・美

和

w a r a k u

楽



# 今、「稽古場」自慢の 和稽古が 人気

骨董店で、お寺で、料亭で…。  
通うのが楽しくなる

人気の和稽古を、ご紹介する好評企画第4弾。  
今回は、骨董店でお茶のお稽古をしたり、  
お寺で書を学んだり、料亭で煎茶を習ったり。  
稽古場に通うことも楽しみであるような  
魅力的な和稽古を、ご紹介します。

撮影 阿部浩 構成 梅原真子 五十嵐佳世（本誌）

## 骨董店で茶

「古美術桃青」でお茶を習う

右ページ／稽古場は「古美術桃青」内の  
茶室「青峰庵」。店内にある茶室とは思えない  
落ち着いた空間。  
下／仏教美術や茶道具が並ぶ店内。  
左手に見えるのが茶室。



東京・銀座にある「古美術桃青」は、骨董をこよなく愛する、主人の富永民雄さんが、愛着をもって選んだ茶道具や茶朝、仏教美術の逸品がそろった店。奥には「主人自慢の茶室「青峰庵」があります。二畳中板の小さな茶室ですが、中に入ると座ると広がりがあり、とても落ち着く空間。ここで月1回行われているお茶のお稽古がひそかな人気です。

「お茶会に行きたくても作法を知らないから行けないとか、茶席で困らないように最低限の作法は身につけてほしい」という話をよく聞きまして、それならここで

古美術について学びながら気軽に稽古するのとはどうかと思っただけのたんてす」とも、主人。指導は茶歴30年、店のスタッフでもある織戸宗恵先生です。

「床荘だけ見に行らっしゃる男性もいれば、お茶を飲みながら一日中楽しんでいられる人も。みなさん、それぞれです」と先生。ここは1年通うのも、1回だけでもOKとのこと。「主人いわく「それは生徒さんが決めること。いろいろな楽しみ方があっていいと思っています」

古美術の名品を愛でながら、お茶の基本的作法を学べる贅沢なお稽古場です。

# 骨董店で お茶の 茶

基本的作法だけでなく、  
古美術も学べる楽しさ

指導 織戸宗恵先生

お稽古情報

場所／古美術桃青  
東京都中央区銀座7-10-8  
第五太閤ビル103  
☎ & FAX 03-35571-1233  
アクセス／東京メトロ銀座線  
銀座駅より徒歩約5分  
稽古日／原則として毎月第2日曜日  
時間／11時～17時（この時間内であれば、都合のよい時間でOK）  
会費／1回¥3,000（水屋代含む）

織戸宗恵先生  
1957年横浜生まれ。22歳から養子家のお茶を学ぶ。元來骨董好きで、2003年より「古美術桃青」のスタッフ。古い茶道具を巧みに取り合わせた道具組と丁寧な指導が好評。

古美術桃青

稽古などにはこだわらず、主人がその確かな目で選ぶ名品の数々と、ご夫妻の気さくな人柄が多くファンを惹きつける。月替わりの茶室の床荘や、眺めるのも楽しい。住所、連絡先は上記と同。11時～19時 日曜休  
<http://www.2oldline.jp/08ci>

- 1 お点前する人の後ろで、きめ細かく指導する織戸先生(左)。
- 2 客畳に座れるのは最大3人。本日の正客にはご主人の富永さんが、1回の稽古で、お点前と客ぶりを1回ずつ稽古し、全12回で、亭主としての作法と客の心得の最も基本的なものを学ぶ。
- 3 床の軸は伝藤原為家筆「新古今和歌集切片枝さすおふのうらなし 初秋に なりもならずも 風さ身にしむ」。美濃伊賀耳付花入に秋の花、青海波梅林文螺鈿香合。
- 4 茶杓は信首座作 家原白仙贈筒、海器は撫子時給中棗。
- 5 兵頭赤絵菓子鉢 銘「天下第一」に鎌倉・こまき製の「初雁」。
- 6 奥様の眞喜江さんが古装でつくる仕履も人気が高い。

